

教職員自己紹介

合志 和晃(ごうし かずあき)

知能情報学科・助教授

[略歴]

1970 年に福岡で生まれました。その後、千葉、広島、千葉、福岡、東京、広島(修道学園)と移り、大学からは、英国・北アイルランドに滞在した期間を除いてずっと福岡に住んでいます。1992 年九州大学工学部電子工学科卒業。1997 年九州大学大学院システム情報科学研究科情報工学専攻博士課程修了(博士(情報科学)取得)。同年九州大学大学院システム情報科学研究科知能システム学専攻認知科学講座助手。1998 年より 18ヶ月 英国 ベルファスト・クイーンズ大学(The Queen's University of Belfast)にて在外研究。2002 年九州産業大学情報科学部知能情報学科助教授。



[担当講義]

担当する講義は、主にプログラミング基礎・同演習とデータ構造とアルゴリズムⅠ・同演習です。共にプログラミング関係の必修の講義で、学生みなさんに、プログラミングに慣れて内容を理解してもらいたいのは、もちろんですが、ソフトウェアをつくりあげる面白さや楽しさもわかってもらいたいと思っています。

[研究]

知的支援システム(ひとにやさしいシステムの開発)に関する研究

- (1) 人の特性を考慮したバーチャルリアリティ(VR)システム遠隔操作への応用を想定して、バーチャルリアリティの研究を行っています。人にどのように情報を提示すれば、遠隔操作の作業効率が良くなるかを研究しています。
- (2) 高度交通システム(ITS: Intelligent Transport System)における安全運転支援システム情報通信技術を用いた高度交通システム(ITS)は、さまざまな内容の分野を含んでいます。その中でも安全運転支援つまり自動車の事故防止について管理・教育の観点から研究を行っています。
- (3) 情報科学についての知的教育システム(ITS: Intelligent Tutoring System)情報科学を教えるための知的教育システムについて研究を行います。これまでは、ベルファスト・クイーンズ大学にて Computation Theory の講義用に Hoare Logic を教えるための知的教育システムの研究・開発を行いました。

1.2. については、以前私が所属していた九州大学大学院システム情報科学研究科の認知科学講座と共同で研究を行っています。

澤田 直(さわだ すなお)

知能情報学科・助教授

まず略歴ですが、鹿児島に生まれ、18歳で九州大学に入学するまで鹿児島に住んでいました。1989年3月に九州大学工学部情報工学科を卒業し、1991年に九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程を修了しました。卒業論文のテーマはデータベースの利用者インタフェースに関するもので、修士論文のテーマは論理回路の最適化手法に関するものでした。



1991年から九州大学の助手となり、2002年3月まで主に計算機のハードウェアに関する学生実験を担当してきました。2002年4月に博士号を取得し、九州産業大学情報科学部の助教授に就任しました。

研究テーマとしては、論理回路の最適化に関する研究とハードウェアの教育手法に関する研究を行っています。論理回路の最適化に関しては、論理回路の出力が変化しないようにその構造を変化させ、用途に応じて高速に動作する回路にしたり、消費電力の小さな回路にしたりする手法を研究しています。また、ハードウェアの教育手法に関しては、九州大学での学生実験の経験を活かし、どうすれば計算機のハードウェアの仕組みを分かりやすく教えられるかということの研究をしています。そのひとつとして本学部の2年生に対する実験では、学生の設計した論理回路を用いて自動販売機など本物の機械を制御させるという試みを行う予定です。

講義で主に担当するのは、2年生前期の「情報回路」「情報科学基礎実験」、2年生後期の「情報回路設計」「情報回路実験」など論理回路や実験系のものが中心となります。計算機やLSIの仕組みや設計法を、楽しく分かりやすく講義していきたいと思っています。